

33

ご感想、ご意見などを自由にお書き入れください (アイデア、ツッコミ、何でもどうぞ)

青山学院大学シンギュラリティ研究所
「近未来の図書館と新しい学び」研究プロジェクト

■趣旨・目的

研究支援の強化に加え、教育・学修支援の拡充に向けて大きく変貌を遂げている大学図書館について、本来的な意味でのラーニングコンス、すなわち協働的・創発的な学び(合い)を促進するプラットフォームとらえ、実証的なアプローチを重視しながら、新しいモデルの開発をめざす(ここでいう「学び」は広く人間の成長を意味するもので、研究的な活動を含む)。本学において進められている新図書館建築にも資することをねらいつつ、本格的なAI時代を見据えて研究を進めていく。

AIの図書館資料
(7/24迄最前)

■内容・体制

近未来の図書館において実現の可能性があると思われるサービスやシステムについて、実業技術から理念・理論まで、ニーズの把握、現状・動向や実現に向けた課題の整理・検討、プロトタイプの実験・開発などに取り組む。研究トピックを例示すれば、
・利便性・個別性を向上させた次世代型レファレンスサービス
・学修活動に連動した文献・情報ナビゲーションシステム
・クロスメディア的な視点に基づくコレクション構築
などが挙げられる。具体的なスケジュールなどは、現在、検討中。学外諸機関・諸氏との対話・協力を通して研究を展開していく(産学連携を含む)。研究成果については、順次、広く公開してフィードバックを得ることを重視する。

人と人のつながりの
が、このつながりとは??

■シンギュラリティ研究所とは

AIが飛躍的に進化する近未来において、私たちはどう生きるのか? 技術的特異点(AIが人間の知性を超える時点)を迎えようとしている人間と社会のあり方について、主に人文・社会科学の観点から多面的に研究を進めていく。本年4月開設。
<http://www.aoyama.ac.jp/research/laboratory/singularity/>

■今後に向けて

ご意見・ご助言をお寄せください。これから本格スタートするプロジェクトにぜひお知恵とお力をお貸しください。ご連絡は下記までお願いいたします。
プロジェクトリーダー 野末俊比古(教育人間学部教授)
tnozue@eps.aoyama.ac.jp

「誰と誰の間で連携する」という
「関係性」が重要!!

そもそも、AIが発達したら、大学に
通って学ぶ必要がなくなるのでは??

AIはあくまで
「誰(人間)の
手助け(アシスト)に
なる」
「自分自身で考える」
「自分自身で決断する」
「自分自身で行動する」

「近未来の図書館」
AIは「誰と誰の間で連携する」という
「関係性」が重要!!
「誰と誰の間で連携する」という
「関係性」が重要!!

AI発達の現状
AIはあくまで
「誰(人間)の手助け(アシスト)に
なる」
「自分自身で考える」
「自分自身で決断する」
「自分自身で行動する」
GoogleのTensorFlow
IBMのWatson
日本のRAI2.1Nなど

U-PARL WORKSHOP
アジア研究
文献探査セミナー
漢籍
参加者募集

U-PARL WORKSHOP
アジア研究
文献探査セミナー
中東・イスラーム
研究文献編
参加者募集

ASIAN LIBRARY CAFE
古典籍 on flickr
読書・送付をウェブサイトで
オープンしてると
2017.10.20(金) 17:30-19:30
参加無料

U-PARL WORKSHOP
アジア資料
目録作成ワークショップ
チケット募集